五城目町広報
発行及編集人
秋田県五城目町役場
総務課
印刷　五城目　湖東印刷

納税完納準備は貯蓄で

各地區で懇談会開催

町では納税強調期間の行事の一つとして、各地区毎に納税組合長の参集を得て、左の日程で納税懇談会を開催した。

十一月六日　大川地区
〃　十一月九日　富津内地区
〃　十一月十日　馬場目地区
〃　十一月十日　内川地区
五城目地区
全戸加入組合

懇談会は町財政一般並びに町税の現況等説明の後、懇談に入つたが大要は次の通り三点が主題で、非常に有意義に終つた。

一、納税貯蓄組合助成規程の一部改正について。

これは従来九〇%以上納税組合については三%の一部改正について。

これは従来九〇%以上納税組合については三%、金戸加入組合については三%の事務費助成金を交付して納税組合長の参集を得て、いたが、これを納税歩合の段階に應じて差をつけた。即ち納税歩合が

（任意）加入組合
九〇%以上　一、〇%
九五%以上　一、五%
一〇〇%　二、〇%
九〇%以上　二、〇%
九五%以上　二、五%
一〇〇%以上　三、〇%

と改めたものである。これにより従来一〇〇%完納のため努力した組合も完納の一歩手前で足踏した組合も一率であつた不合付された場合、任意組合理がある程度訂正されるわけである。組合長の中には

論のある者もあつたが、最終的には引下げとはならないのでこれを諒承した。

二、税金の納付について

納税貯蓄組合は本来一人一人では仲々むづかしい準備貯蓄について、お互が助け合つてあらかじめ準備貯蓄をしておき、税金の納期が来てもあわてないようにしようとするものであるが、組合の現況は必ずしも全部の組合が準備貯蓄されてはいない実情にあるので、特に農村部のように秋に年間収入の大部分が入るところは、この秋に年間税額の残額全部を納付されるよう

助成率が引下げられると異

石谷代議士来町する

各界代表て会談

参議院議員石谷憲男氏は東北各地を視察の途中十月二十日当町へ立寄られた。町では議会員をはじめ林業、製材、木工等各界の代表が集まり「石谷先生をかこむ会」を催し、眼迎と陳情をかねて種々会談をした。

当日石谷先生は役場へ到着後町長室で休憩、町長から町勢の概況をきいたのち第一会議室に入り五十数名に囲まれて町長から保呂瀬、北川、工藤、佐藤、佐竹、佐藤、佐藤、佐藤

数々の教訓を残し 産業祭おわる

五城目町では去る十一月二日秋田市方面からかなり冒わいに産業経営をユーモアたっぷりに三時間語り、約一〇〇名の聴取者に多大の感銘を与え盛会であった。最終日の五日午後一時から秋田県知事代理の秋田林業部長が行われた。

期間中三日午前中は青壮年と婦人会、農業改良普及員の実演が行われた。

四日午前中は青壮年層を対象に農家体験発表と講演、郷土芸能発表会が行われ、四日間の産業まつりをとじこのほうなく終了した。

五城目町では去る十一月二日から五日まで四日間、五日は五城目小学校で全産業を網羅した産業祭を開催し総出品数一二一二点をかぞえ、外各種展示展覧場がいっぱいひらげた。

期間中延一万人の参観者を呼んで近年にない盛況をきわめた。特に今回新らしく講演、郷土芸能発表会の出品物のなお表賞授与式は最終日の審査結五日午後一時から五城目小学校に於いて県知事代理外日発表多数の来賓及び入賞者出席されたのもと盛大に行われた。

それに

▼秋田県知事賞

造林第一部　富津内小玉

総出品

よると

点数一

藏

家具　四尺整理ダンス五

五城目京野鍛五郎

打刃物山マサカリ　五城目　荒川祐　郎

▼県森林組合連合会長賞

造林第二部　馬場目石川

その他水稲健苗育成施設者及顕著な脇乙部落外二部落に団体賞、野田佐川俊雄外一名に褒状、五城目菜子組合外四名に感謝状がそれぞれおくられた。

畠山審査長は「本年はいくわらず出品点数がいちじるしくこれまでの最大をかぞえ、このなかから知事賞四点、農業改良普及所長賞一点、農業改良普及所長賞一点、一等賞三七点、二等賞七一点、三等賞一二二点の他水稲健苗育成施設者及顕著な脇乙部落外二部落に団体賞、野田佐川俊雄外一名に褒状、五城目菜子組合外四名に感謝状がそれぞれおくられた。

畠山審査長は「本年はいくわらず出品点数がいちじるしくの悪い気象条件にもかゝ水稲四一号五城目本間末吉

晴れの入賞者

五城目町産業祭

総数二四〇点入賞

小玉さんら四氏に輝く知事賞

第四回しく多くなった。なかでも五城目水稲の出品が多く適良品種町産業の感謝と一般稲作技術向上祭の出の現われだ」と語った。品物のなお表賞授与式は最終日の審査結五日午後一時から五城目小学校に於いて県知事代理外日発表多数の来賓及び入賞者出席されたのもと盛大に行われた。

それに

▼秋田県知事賞

造林第一部　富津内小玉

総出品

よると

点数一

藏

家具　四尺整理ダンス五

五城目京野鍛五郎

打刃物山マサカリ　五城目　荒川祐　郎

▼県森林組合連合会長賞

造林第二部　馬場目石川

その他水稲健苗育成施設者及顕著な脇乙部落外二部落

▼秋田県知事賞

造林第一部　富津内小玉

造林第二部　馬場目石川

造林一部富津内小玉可那子　野田村婦人会　同大川西野　建具　五城目田原忠三郎　桶石井松三郎　野田佐江弘　料理馬場

〃　二部馬場目石川力也　目村婦人会　同大川西野　建具　五城目田原忠三郎　桶石井松三郎　野田佐江弘　料理馬場

木炭白樺丸内川松樋松蔵　クローバ婦人会　たばこパイレー五城目一関金四郎　三等賞　一二二点氏名省略

苗代畑苗代大川佐藤一郎　〃　折衷五城目鎮目鶴八

▼試体賞

水稲健苗育成施設者及顕著な部落

富津内脇乙部落

馬場目小玉久治郎　石川力

内川小倉部落　木炭富津内伊藤祐蔵

馬場目泰地部落　苗代大川佐藤

多米収穫省略　同伊藤良蔵　苗代大川佐藤

家具最新型婦人四点セット　菜子　五城目菜子組合

百姿城大郎　宮田製材所

大川佐藤一郎　富津内岡部

敬治　馬場目佐々木千代吉　製材品

利物山子用ナタ　菊地製材所

ナタ児玉金蔵　五城目木材工業協

兼本郎　同組合

物流　加賀谷木材株式会

米多収穫省略

◇二等等

水稲農林四一号富津内伊藤

社三　同馬海馬場目斉藤貞

藏　農林四号五城目鎮岡

誠一　十和田五城目伊藤博

陸稲馬場目伊藤英治郎　太

豆馬場目佐藤一美　馬鈴薯

富津内阿部タミエ　同伊藤

同　大根富津内伊藤ヤル

大根秋田馬場目斉藤みよ子

〃　大川加藤つぎ子

〃　力領　馬場目田仲アイ

〃　甘藍南部　横町小野サト子

〃　小玉　昭藏

白菜東京五城目本間金之助

葱　大川　金子フエ

玉葱泉州岡本　宮田　行光

ホーレン草　野田加藤善吉

柿平種無　五城目千島シガ

料理ピン詰たけのこ馬場目

門前婦人会

料理日常食　上樋口若葉会

たばこパーレー五城目一関

清太郎

五城目本間敬三　植同千葉

正人　同斉藤圭　サイレー

ヂ　野田近江弘　料理馬場

目村婦人会　同大川西野　建具　五城目田原忠三郎　桶石井松三郎

クローバ婦人会　たばこパイレー五城目一関金四郎

同一関愛藏　栄富津内大石

喜一郎　造林一部内川畑沢　野田佐川俊雄　畑地の高度

市部　同五城目加賀谷力司　利用化を研究実践の功績者

造林二部　内川寺庭部落有　賞す

林　同内川石井勝雄　間伐

内川小倉部落　石川力

イレーターの研究改良を賞す

▼感謝状

五城目菜子組合

菊地製材所

五城目木材工業協

同組合

加賀谷木材株式会

社

同。　同。　同。　

産業祭出品物審査概評

農産の部

審査長　畠山正太郎

今年は消雪も早く春以来の好天に恵まれ、種まき、田植等順調に経過し大きな災害はなかつたが、二回も払い落されるなどして幾多の悪条件が累積し、たいへん心配であつたが、農家各位のたゆまざる努力により、被害を最少限度に喰いとめ平年作をはるかに上廻る五年続いたりすることなく、秋田大根の出品が少なかつたこと、干大根は肉質が不充分なため相当見受けられる。蔬菜のなかで甘藍に優品が見られたが、一個の重量二ど在来種であるから、これを更新して優良品種に代えて行くことが何より大切かと思う。

水陸稲

出品点数は七十四点ありまして前回より著しく増加している。品種としては農林四十一号が最も多く鳥海ハツニシキがこれに次いでいる。本年は最近の奨励品種の出品が多くなつている。又本年は七月の低温をうけたので、この点が少なかつたが、この地域なく出品されたものは適良品種の認識と採種並びに一般稲作の栽培技術の向上しつゝ尊の出品もあつたが、これらはいづれも短期的に生産でき市場において高値に売買されている状態であるから、この栽培にあたり販売時期と生産を高めることを研究されたい。

雑穀

大小豆、雑穀は出品点数も少なかつたが、蔬菜の産地としては当然かも知れない色彩がでた出びん物は非常に恩考をこらしたものが多くしかし技術的にみてまだ向上する余地があるので次に述べたいと思う。畑苗代の場合播種量が多くなつて乗気象は春先以来順調に経過したため軟弱な苗と立枯病に安いものをピン詰貯蔵するような創意工夫を切望する。

たばこ

たばこ耕作も今年で三年目の開閉に努めてもらいたい。又加熱育苗の假植後の生育が順調でないことは床土の月七日から十一日までの最低気温一三・一度(秋田)八度一九〇条等中生種が多く出された。

蔬菜及びいも類

蔬菜の出品は四〇〇点でこのうち根菜類が最も多く一四九点、葉菜類の一一三点いも類四五点であり、故良条件が累積し、たいへん心配であつたが、農家各位のたゆまざる努力により冠水、且つ又約一〇〇ヘクタール(一〇〇町歩)にわたる白葉枯病の発生について五百ヘクタール(五百町歩)の秋ウンカの異状発生に続いて台風により杭掛けした稲は、二回も払い落されるなどして幾多の悪

米多収穫

最高5石3斗3升8合

舘岡良三(高崎)新記録

今年は昨年と審査方法を変え、全地域から多く出品していたゞくため、審査区を十ブロックに分割して三反以上の農家で三人各一反歩を以て一点とし、ブロック毎にそのなかで優劣を決めた。成績は次のとおりである。

◇ 五城目地区

等級	氏名	品種名	反当収量	3人平均収量
1等	舘岡良三	ふ系41号	5石338	4石727
〃	誠一	農林41号	4 767	
武田	武雄	ササスグレ	4 166	
2等	猿田 俊雄	農林41号	4 135	4 262
〃	清	〃	3 623	
〃	孝男	〃	5 028	
2等	伊藤榮之助	農林41号	3 968	4 117
一関	勇吉	〃	4 358	
一関	貫	〃	4 025	

◇ 馬場目平担部

等級	氏名	品種名	反当収量	3人平均収量
1等	田仲喜美治	農林41号	4 878	4 029
佐々木吉之助		〃	3 540	
金野	勇	〃	3 668	
2等	斉藤 周作	〃	4 205	3 998
〃	忠治	〃	3 923	
〃	勇吉	〃	3 865	
2等	内藤 実	農林41号	4 025	3 945
石井	悦郎	〃	3 970	
〃	鉄雄	〃	3 840	

◇ 馬場目山間部

等級	氏名	品種名	反当収量	3人平均収量
1等	佐々木喜久治	農林41号	3 350	33 77
〃	鉄己	〃	3 358	
伊藤	政治	〃	3 423	
2等	佐々木重太郎	〃	3 155	3 301
〃	孫四郎	〃	3 535	
〃	互松	〃	3 215	

◇ 富津内平担部

等級	氏名	品種名	反当収量	3人平均収量
1等	伊藤 義男	農林41号	4 680	4 438
〃	良耕	〃	4 288	
石井	一美	〃	4 345	
2等	椎名修太郎	農林41号	4 103	3 989
〃	富雄	〃	3 780	
石井	次郎	〃	4 085	

◇ 富津内山間部

等級	氏名	品種名	反当収量	3人平均収量
1等	畠山 正一	鳥海	3 538	3 524
小玉太美雄		農林41号	3 500	
小玉	キン	〃	3 533	
2等	伊藤 亀桜	鳥海	2 418	3 041
〃	武治	〃	3 143	
〃	鉄桜	初錦	3 563	

◇ 内川平担部

等級	氏名	品種名	反当収量	3人平均収量
1等	石井 助蔵	農林41号	3 988	4 453
伊藤	武雄	〃	4 775	
石井	良治	〃	4 595	
2等	石井 勝雄	〃	4 213	4 200
〃	祐太郎	〃	4 333	
〃	新一郎	〃	4 055	

◇ 内川山間部

等級	氏名	品種名	反当収量	3人平均収量
1等	工藤 兼一	農林41号	4 090	4 025
松橋	四郎	〃	4 160	
猿田	和夫	〃	3 825	
2等	工藤与一郎	農林41号	3 678	3 689
〃	隆一	〃	3 532	
〃	鉄男	〃	3 853	

◇ 大川西部

等級	氏名	品種名	反当収量	3人平均収量
1等	伊藤儀一郎	農林41号	4 513	4 035
浅野金十郎		〃	3 178	
八柳喜一郎		〃	4 413	
2等	小熊 信男	農林41号	3 743	3 933
浅野己之松		〃	4 310	
北島 隆一		〃	3 708	

◇ 大川東部

等級	氏名	品種名	反当収量	3人平均収量
1等	佐藤 博	農林41号	4 243	4 147
〃	三郎	〃	3 910	
〃	一郎	〃	4 288	
2等	千田 雄一	農林41号	3 795	3 996
千田	善一	〃	4 050	
金子勝一郎		〃	4 145	

◇ 面潟地区

等級	氏名	品種名	反当収量	3人平均収量
1等	斉藤 豊治	農林41号	3 535	3 642
加藤 繁雄		〃	4 088	
藤井 政勝		〃	3 303	
2等	近江 弘	農林41号	3 445	3 591
工藤 芳雄		丹系41号	3 468	
工藤金一郎		鳥海	3 860	

長野県の農業を学んで

大川北島 隆一

長野県の農業経営や生品の実情を知り、その合理的な考え方を実習する為七月三、七〇〇円(三〇%)、八、九月の三ヶ月間実習して参り、その一端を報告します。

受入農家の経営概況について入居地は長野県北佐久郡軽井沢町島井原、家族六人、労働可能者三人、家畜馬一、牛一、山羊一、鶏四〇羽一、主なる農機具は動力脱穀機一、動力噴霧機一、カルチベーター一で耕地面積水田七反畑一五反、原野三町五反(これは畑として可能である)畑に於ける作付延面積は二町一反で利用率一四〇%です。

耕地は自宅を中心に一、五キロ以内に七ヶ所に散在している。いづれも徒歩で際一、五%の他四、二%で一日四二三円で最も少ない。農業支出関係は三、

でその内訳は蔬菜四二八四八五、〇〇〇円(四三%)、雑穀三三、七〇円(三、三%)その他七九七円(一、八%)である。月別収支状況は、六、七月を中心に赤字になり、黒字がハッキリ三分され困難、野菜船付管理作業が一〇〇円、主なる農機具は動力脱穀機一、動力噴霧機一に支出が大きい。九月と十一月には蔬菜出荷と供米等のため収入が多い。支出総計六六九、〇〇〇円(一〇〇%)でそのうち家計費は二八、〇〇〇円程度で粗収入に対する生産費の割合は水稲が五三%で最も多い。蔬菜が四五%で最も少ない。

左の四名があらたに法務大臣から委嘱発令された。

新任

阿部友治郎(富津内)
鈴木 豬作(面潟)
佐藤勝太郎(五城目)
斉藤 周作(馬場目)

当町にはいままで人権擁護委員一名(木村喜太郎氏)が置かれていたが、この当町の委員定数が改正されて木村喜太郎(大川)

ている。家畜は馬一、牛一、山羊一、鶏四〇羽一、主なる農機具は動力脱穀機一、動力噴霧機一、カルチベーター一で耕地面積水田七反畑一五反、原野三町五反(これは畑として可能である)畑に於ける作付延面積は二町一反で利用率一四〇%です。

耕地は自宅を中心に一、五キロ以内に七ヶ所に散在している。いづれも徒歩で際一、五%の他四、二%で一日四二三円で最も少ない。農業支出関係は三、

食費二三%、教育費一、八%、被服費七、三%、雑費二、八%、修繕費一、一%、交際費一、五%の他四、二%で教育費の多い理由は大学費用で、従って教育程度は高い。農業支出関係は三、

▼今後の改善点について考えた事。

乳牛の導入を役牛と交換して年間の安定した収入の確保(三角型農業確立)と飼料牧草専用圃を作ること、労働ピークの低減とその計画行って自分の経営の姿を数画性を持たせること。中型耕機導入により作業能率を高めること。特に蔬菜作りに於ける管理作業を考えて、夏場の過重な労働を平均化すること。有機物補給による所得の増加であるが地力の増進を計り肥効を高めるとともに生産費に対する農業粗収入の増大を計ることなどがあげられ、この地方は耕地利用が徹底されており、経営の診断をよく理解して自分の経営の姿を数量的にはつきりつかんでお耕耘機導入により作業能率を高めること。特に蔬菜作りに於ける管理作業を考えて、夏場の過重な労働を平均化すること。有機物補給

ました。

三ヶ月間の実習により、自分の経営を反省し、現在の状態を分析解ぼうしてみて、経営のどこに欠かんがあるかを知ることが一番大切だと思います。

人権擁護委員の増員発令される

ると共に、常に自由人権思想の普及高揚に努めることを本来の使命としている。

当町の委員左の通り

木村喜太郎(大川)

三頁より

打刃物は出びん数も多く優秀な新しい型の刃物さみられ業界の熱意がうかゞわれ喜びにたえない。

五城目特産である刃物も共同施設々置によりひん質も向上し、量産態制も確立したことは五城目刃物の今後に期待するところ大きいの

で、今後規格の統一に重点をおいて更に販路を拡張されるよう努力を望む。

出びん物は全般的に努力の跡見られ、殊に知事賞を得たマサカリは商ひん価値、技術の点からも県内品に対して誇り得る優秀なものと認められた。

しかし全般的にまだ青色、研磨の不十分なものも見られるので今後更に一層この

目の刃物の名声をたかめられるよう奮起を望む。

審査に当り特に気づいたことは、ナタ、ほう丁類の柄たり材料を荒削りのものをそのまゝ使用しているのがみられるが、商ひんであるということを忘れずに更に改りよう工夫を加えること。

又今回は農用鎌三本の出びんがあったが材料の利用、

農家のこよみ

十一月

四季を通じて農家の生業は絶えない忙しさに明け暮れる。単作にのみ依存することの出来ない生活環境と、日進月歩の農業技術の向上によって得られた時間のゆとりと、そのいづれの意味にもせよ手直視されなければならない。又今夏全町を賑わせた營林署の坐り込み斗争など考えなければならない問題もあるようだ。ともあれ当町の農家の大部分が山林と密接な関係を持ち、山林と共に生きて

いる。それは一年を通じて直接或いは間接に絶えまなく労働力を求め、それに対して農家は余剰労働力を惜しみなく提供するされていることは誠に喜ばしいことである。

樂外に高賃金に過ぎる現象とも言える。

◇

心ゆくばかり晴れ渡った高い秋空の下、紅葉の錦いも美しい山のたゝずまいの中で、刈り入れ後の一ときの閑期を山仕事に稽出す農家の主婦たち―稼ぎ出す手間賃の胸算用が、家庭への愛情を通じて遠く町の店にとぶ。何分が山林と密接な関係を買う相談をしているのだろうか。

いる事実を我々は再認識する必要がある。それが町の数多くの木材関係業者の存在價値を決定づけ町の発展の一翼が又それにつながっていることもゆるがせに出来ない事実であろう。

◇

耀災互助会見舞金支給

本年五月三日内川地区小五万円也長石井松之助
五万円しょう員佐藤勝治
五万円〃千葉誠一
二万五千円〃
計十七万五千円

倉の火災罹災者中消ぼう団員に対して秋田県罹災互助会より第二回目の見舞金が消ぼう国長副団長等立会の上加賞金しょうぼう長から左記により支給された。

記

一、日時 一月十一月九日午後
一、場所 五城目町役場
一、金額受給者

階級	氏名

税金は期限まで納めましょう